

## 愛されて、はじめて

社会・奉仕部長 富島裕史



日本キリスト者医科連盟 (JCMA) 静岡部会と、デンマーク牧場福祉会の共催による講演会が、今年の6月9日(日)にデンマーク牧場(まきばの家)で行われました。講師はラルシュカナの家、コミュニティリーダーの佐藤<sup>けん</sup>言さんでした。

ラルシュコミュニティは、すでにご存知だと思いますが、知的障がいを持つ人と持たない人が、共に生きるコミュニティです。ジャン・バニエにより1964年に設立され、現在では世界に150のコミュニティがある国際的なネットワークです。日本では静岡にある「ラルシュカナの家」だけです。佐藤さんは、かなの家の使命は、「能力・効率・競争の中で、弱さの賜物を伝えることは難しいけれども、知的障がいのある人の賜物を伝えること」と言われていました。

講演の中で、動画がありました。「十九の折り鶴」というタイトルで、相模原障がい者施設(やまゆり園)殺傷事件に触れていました。犯人が衆議院議長に送った手紙の一部が読まれました。「この手紙を手にとって頂き本当にありがとうございます。私は障害者総勢470名を抹殺することができます。保護者の疲れきった表情、施設で働いている職員の生気の欠けた瞳。障害者は不幸を作ることしかできません。」この動画を作成するときに、最初はこの手紙を破り捨てる設定だったのですが、朝から夕方まで紙をすく作業をしている幸子さんによって、この手紙は折り紙に変えられました。そして、亡くなられた19名を覚えて、その折り紙で「十九の折り鶴」が折られたのです。その折り鶴は、後にやまゆり園に届けられたのです。感動的なシーンでした。

佐藤さんは、自分の中にも「優生思想」があると言われていましたが、NHK文化福祉番組チーフ・プロ

デューサー熊田佳代子さんは、次のように語られています。「障害の有無や人種などを基準に人に優劣をつけようとする優生思想は、経済力や運動能力などの“生産性”がなければ『生きる価値がない』という考えに結びつきやすい。…(中略)…取材させていただく方や視聴者の中には、生産性で人間の価値が量られる社会に生きづらさを感じる人たちも多い。障害者や高齢者、経済的に困窮状態にある人だけではなく、病気で思うように働けない人、コミュニケーションが苦手だったり他人と異なる特徴があったりして学校や職場に居づらい人など…。一見“普通”にしている、いつ『役に立たない』と排除されるか不安を抱いている側からすると、今回の事件は他人事ではない。そんな“不気味さ”を訴える声が、いまま番組に寄せられている。』『優生思想』は現在社会に脈々と息づいている』障害者施設殺傷事件が着き付けた問題(東洋経済ONLINE 2016年11月16日)。普通に暮らしていると、私たちは何も感じないかもしれませんが、しかし、いつ役に立たないと評価されるのか、それは他人ごとではなく私たちの問題なのです。

神さまは、私たちの弱さを良く知っておられます。その弱く、罪ある私たちであるにもかかわらず、愛してくださっています。それが主イエスの十字架の出来事であり、復活の出来事なのです。イザヤ書43章4節には「わたしの目にあなたは値い高く、貴く、わたしはあなたを愛している」とあります。神さまは、私たち一人ひとりの存在を喜び、価値あるものとして見てくださっているのです。この神さまのことは、弱さを知った者にしか響きません。

ジャン・バニエは、人は愛されて初めて、愛されるにふさわしいものになると言っていますが、まさに私たちは神さまに愛されて初めて、愛されるにふさわしいものとなるのです。

### CONTENTS

巻頭言	1
新任教職紹介	2
信徒大会案内	3
教区青年会・教区女性会	4

あゆみの家・林町デイセンターの働き	5
東海地域教師退修会・教区常議員会より	6
教会リレー・栄光教会	7
ぶどうの欄	8

# 新 任 教 職 紹 介



## みのり教会 野口勝彦

4月1日より、みのり教会牧師として着任しました野口勝彦です。自己紹介をする前に平成30年7月（西日本）豪雨の召天者が2018年7月22日現在、224名となりました。天に召された方々を覚えてたいと思います。

さて、私は2005年3月に日本ルーテル神学校を卒業し、二日市・福岡西教会に派遣されました。その間、佐賀県の牛津ルーテル幼稚園の理事長を兼任し、2011年3月に発生した東日本大震災により組織されたルーテル4教会・教団の支援組織、ルーテル教会救援「となりびと」の派遣牧師として、2年間、その任務にあたりました。支援終了後は、長野・松本教会に派遣されました。

このところ毎年のように様々な災害が発生していますが、私も災害との関りは深く、ボランティア元年とも呼ばれた1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災での支援活動がその始まりです。当時、名古屋YMCA職員であった私は、西宮YMCAで支援活動を行いました。その後、東海豪雨を経験し、2005年3月20日にはじめて牧師として説教を始めようとした時、地震無風地帯と言われていた福岡で、最大震度6弱の福岡西方沖地震があり、牧師館に大きな被害を受けたのです。また、2014年11月22日は最大震度6弱の長野県神城断層地震でも被害を受けましたが、幸いにも長野・松本両教会、特に松本教会は地震発生3日前に地震保険に加入したおかげで十分な補修工事を行うことができました。

この三遠地区は、私が子どもの頃から東海大地震が発生することが予想され、様々な、対策が講じられてきましたので、他の地域とは違うかもしれません。しかし、今回予想される南海トラフ巨大地震では甚大な被害が想定されています。避難者は1週間後に最大で約950万人発生し、避難所への避難者は1週間後に最大で約500万人と想定されています。

私は17年ぶりに戻ったこの地で大きな被害が出ないように祈り、その備えをできればと考えています。



## 新霊山教会 森田哲史

主のみ名を賛美いたします。4月より新霊山教会に赴任いたしました、森田哲史です。

私は、正月には神社に初詣に行き、お盆にはお寺に墓参りに行く、そのようなキリスト教とは無縁の家庭で育ちました。しかし小学生の時、近所の都南教会に太田一彦牧師が赴任され、ご子息と同級生となった縁で、都南教会の教会学校に通うこととなりました。学生時代には田園調布教会に通うようになり、大学4年次に杉本洋一牧師より受洗。当時の私は信仰深いとはとても言えませんでした。それでも自分と教会の関係はずっと続いていくものだと感じていました。学生時代は、次世代育成プロジェクト（TNG）の中高生部門のスタッフとして、ティーンズキャンプなどのスタッフをさせていただきました。

大学卒業後は、鉄道会社に勤めておりました。そんなある日、健軍教会の小泉基牧師にお会いした際、「神学校に入らない？」と背中を押していただき、献身を決意。その頃、仕事があまくいかず、牧師や福祉・教育などの分野で活躍している友人を見ていて、自分の働きとは何かと考えていた時期でした。献身の決意を固めたものの、両親は猛反対。仕事をこなしながら両親を説得するのは辛い日々でした。祈りながらの説得の末、両親にも納得してもらい、神学校へ入学することが出来ました。現在では両親も応援してくれています。

神学校では3年次の宣教研修において、7か月間みのり教会で実習させていただきました。その際には東海教区の牧師や信徒のみなさまに大変お世話になりました。新任牧師として東海教区に帰ってこられたことを嬉しく思います。聖書のみ言葉を分かち合い、祈りを合わせていく中で、共に神様のみ恵みを感じる事が出来ればと思います。

## 信徒大会～今年百年を経た礼拝堂にて行われることに！

信徒大会実行委員長 磯村久市（知多教会）



2018年の信徒大会は、改築の話が進んでいるなごや希望教会の礼拝堂で行うことになった。信徒大会の次の日が日曜日であり、また何かとスケジュールが込み合っている中での使用を了解頂いたことに、深く感謝していますと同時に胸をなでおろしている。

と申しますのは、今回の信徒大会の準備は宗教改革500年の諸行事が終わってからのスタートで、先ず会場探しに苦慮したのであった。会場費が安くて使いやすい会場はすでに塞がっていて、最終的にセントレアホール(中部国際空港)か尾張岐阜地区のどこかの教会でと言うことになった。仮押さえしていたセントレアホールに調査に行った際、なごや希望教会の委員の方から「なごや希望教会を会場にすることは、建築のスケジュールで11月3日は無理と思っていたが、ぎりぎり使えそうな気がする。百年使った教会堂で最後の信徒大会を行うことは意義深く、一度役員会に諮ってみたい。」という申し出があった。同行した委員の方も「名古屋の中心地で集まりやすく、使わせて頂ければそちらの方がいい」と即座に賛成した。

～～今年の信徒大会は～～

テーマは、「復活の喜びに生かされていますか」

聖句…イエスは言われた。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる」

ヨハネによる福音書 11章 25節

会場探しに苦慮すると同時に、信徒大会のテーマ・内容を決めるのにもなかなか意見がまとまらず苦労した。教会の高齢化・教勢の鈍化・信仰の継承など考えると、どの教会も不安が募り暗い話が多くなって来る。テーマ

を決める時このような話が続き、時間ばかりが過るのに業を煮やしたか、チャプレンの奈良部先生が早口で喋りだし、皆その言葉にしばらく耳を傾けた。思わず私は「それぞれそれぞれがいい」と言葉を遮った。「復活の喜びに生かされる…」は暗い不安な話が続きなかで新鮮で、とても大切なことを呼び戻してくれた。委員の一人が「復活の喜びに生かされていますか」としたらどうでしょうの声があり、その一声でテーマが決まった。

会場が決まり、テーマが決まると比較的スムーズに他の内容も決まりだした。その日の午前中は聖餐礼拝、昼休みにはゆとりを持った親睦会、午後は吉村博明宣教師による講演と、小澤実紀姉によるカンテレ・ミニコンサート、そして閉会礼拝。そして当初から委員会が出ていた、「参加型にしたらどうか」の意見に対しては、聖餐礼拝にはハンドベル・昼休みの親睦に青年会のバンド演奏と茶菓の奉仕、閉会礼拝には名古屋めぐみ教会聖歌隊の献歌などお願いすることにしていて、今から楽しみである。

一日皆さんと、お互いの信仰を確認し、また復活の喜びを共に分かち合えればと願っている。会場設定はこれまで、教会外の会場が多かったのであるが、エリア内の集まりやすい教会で行うこともあってよいのではとも思っている。11月3日(土)には皆さん声を掛け合っご参加くださることを願っている。



## 教区青年会

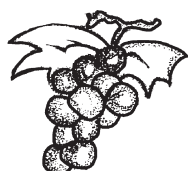
和久井 満 (栄光教会)

それぞれの青年の立場もあり、いつも不定期の活動になっています。今年度は秋久牧師を青年会担当牧師として迎えて、自分に連絡が取れない時に連絡を取って頂き、今年は、夏に集会を持ちたいと青年たちから話が上がり、8月に集会を開く企画が出て、青年たちが動いています。

また東海教区の青年会活動ですが11月

3日(土)なごや希望教会での信徒大会にてコーヒースービスを青年会にしてほしいとの依頼が信徒大会委員会からありました。今回は青年から信徒大会でバンド演奏をしたいとの声あがっています。去年、活動が出来なかった分、今回は、青年たちが積極的に動いて、自分たちなりに繋がりを広げています。青年会はまだ学生等も多く、皆さまの助けを借りながら活動を行っていきますのでよろしくお願いします。

また他教区の集会や青年会の学びには青年の送り出しをお願いします。



## 教区女性会

教区女性会会長 坂井 茂子

2018年6月7日から8日女性会連盟総大会がホテルメルパルク名古屋で開催されました。北海道特別教区から九州教区まで244名の女性会員、教職者15名、講師に片岡輝美氏と総勢260余名一同が共にできたことは感慨深いものでした。連盟役員始め現地実行委員の方々のご努力に感謝するばかりです。

特に、片岡輝美氏の講演では、原発事故の現状は7年経っても終わっていない、今でも不安を持ちながら日々生活しておられる方々が実に多いことを知ることができました。私たちはもっと現状をよく知り、今何が出来るか考えなくてはいけないと思いました。

愛餐会では美味しい料理を味わいながら、懐かしい友との語らい、女性会連盟の歌の合唱と皆様の笑顔で幕を閉じました。

私達22期役員は全てが手探りで進んでいます。どうか7月初旬には、女性会日よりアガパンサスを配布出来る目途が立ちました。

そして、10月には22期東海教区女性会の集いを栄光教会島田礼拝堂で開催します。神様は私たち4人に考えられないほどの、大きな力を与えてくださいました。今回の集いのテーマ“いやし いやされ”です。講演も心療内科・精神科医師、島田礼拝堂会員の竹内俊明医師です。そして、第2部はテノール歌手：鈴木雅人氏のコンサート。出席された皆様、必ずいやされる1日になるでしょう。



## あゆみの家・林町デイセンターの働き

岐阜教会 宮崎 朋子

社会福祉法人「あゆみの家」は、いまから約50年前ルーテル教会の宣教師のジョン・ボーマン先生を中心に創立されました。「わたしの目にあなたは高価で尊い、わたしはあなたを愛している。イザヤ43:4」の御言葉に基づいてあゆみの家は運営されています。心や身体に障害を持った方々に寄り添い、共に生きることをボーマン先生は大切にされました。

当時、知的障害者は世間の「恥」として家から外に出ることもできず、通所施設もありませんでした。そんな中、先生は教会員と共に、村や町にある一軒一軒の家を訪ね歩き、障害を持った方々が社会に受け入れられる場所を提供したのです。

多くの人たちの祈りと献金と奉仕により、最初の小さな建物が建てられました。それから50年、現在では入所施設をはじめ、グループホーム、通所施設など、障害を持つ多くの方々が利用する大きな施設になりました。

私は現在、「林町デイセンター」という重度心身障害者の通所施設で働いています。利用者は重い障害のために、自由に身体を動かすことも、言葉を発することも困難な方々です。その方々を、神様から愛されているかけがえのない人として受けとめ、その方の願いや人生に向き合って最大限にその方を支えていくという、やり甲斐のある仕事だと思っています。

利用者の方の言葉に表せない声を聞きだすために、五感を刺激するような活動や、時には大胆な企画で非日常的な体験をする

ことを通して、表情の変化を促してみたりします。その方の選択肢が増えるような体験と経験を積み重ねていきます。そして、「選択」・「聴く」というサイクルを何度も繰り返す中で、些細な表情の変化や、しぐさから表出される彼らの「意思」を捉えてゆくのです。

諦めずに聞き続けることで、気持ちが伝わることの喜びを実感します。利用者の方々が持っている能力の全てを駆使して、一生懸命に意思を伝えてくれる姿に、私はいつも深く感動をします。この活動の様子は今年5月にNHK・Eテレ「バリバラ」で放送されました。

二年前、神奈川県での施設で残酷な事件が起きました。重い障害のある人は社会的に価値の無い存在であるという考えが、まだ根強くあるのが現実であると知らされた事件でした。

最も重い障害をもつ人達、社会的に弱く小さくされている方々が輝き、満ち足りた人生を送る事ができる住みやすい社会へと変わって行くことが神様の望みであり、私たちのすべき最大の仕事であると、彼らの体を通して、神様から語られているように思います。

今日も彼らの言葉なき声や願いを聞きだし、その心に寄り添って歩む中で、ボーマン先生の踏み出した「あゆみ」がよりよい未来へ続くよう、またこの社会を変えてゆくようにという神様から託された大きなメッセージに、力を尽くしていきたいと思っています。



## 東海地域教師退修会

東海地域教師会会長 朝比奈 晴 朗

6月19日(火)から21日(木)の2泊3日、場所は国民宿舎の奥浜名湖で、講師を含め12名が、朝夕に礼拝に、祈り、会食の時を持ちつつ、現場から退いて修養の時を有意義に過ごした。

【「葬儀は何のためにするのか」～日本におけるキリスト教の葬儀 前夜式・葬儀の意義～】と題して、日本ルーテル神学校から石居基夫教授を講師としてお招きし、基本的なことを学びつつ、それぞれに経験したケースを出し合い、気づかされた反省点、提案も含めて、参列した方の構成年齢にも配慮した式の在り方まで時間の限り、検討を重ねた。

以前より一般的なキリスト教会のイメージは「結婚式場」だったように思う。葬儀は数年に一度あるかないかであり、たまに「教会でもお葬式をするのですか？」と意外そうに尋ねられたこともある。しかし今はどの教会も年に一、二度は当たり前になってきたようだ。教会での結婚式を終えた翌日には葬儀を行うことも珍しくなく、連続して葬儀を行った牧師（教師仲間）も少なくない。

このような変化の中で、数年前公開された映画「おくり人」の影響もあり、葬儀に強い関心を持つ人々も増えた。葬儀そのものは多様化しており、信仰、個人的な事情、自治体の対応や風習、家族関係、人間関係、金銭的な事情などでスタイルが異なる。私たちの行

うキリスト葬儀は、遺族はもちろんのこと、式に参列した方々一人一人にキリストの慰めが届くように祈りつつ行われる。この部分をより深く考えるために、学びの時を持った。

葬儀は多様化しており、華やかで高額な葬儀がある一方で「直葬」を希望する方も増えた。息を引き取ったその場所から、直接、斎場（いわゆる焼場）に搬送して火葬を行うのである。釜の前10分程という制約の中で、教会としてどのような式典をし、祈りの形を持つのか考察した。こういう場合、立ち会う遺族との関係は良好とはいえないケースも多い。遺族から葬儀依頼の連絡があった時から浮かび上がった懸念事項が、式典を通して、和解の出来事が起き、やがて深い慰めへと変わることがある。そのプロセスなどを分かち合った。

今年度より、会長が朝比奈、副会長が渡辺克博牧師、会計が花城裕一朗牧師となった。連絡を密にしつつ、充実した教師会を目指したい。



## 教区常議員会より

教区書記 内藤 文子

【教会建物改築・修繕工事に対する貸付・支援のお知らせ】

常議員会では、2017年に実施された「建物現況調査」の報告を参考に、改築・修繕に対して、貸付・支援に一定の基準を設け、各教会に利用して頂きたいと7/12付けでお知らせ

文書を送付しました。

- \* 土地建物回転資金貸付・支援・貸付金：期間20年（無利息）
  - ・支援金：修繕費の10%（1教会30万迄）
- \* 老朽化対策基金支援
  - ・対象：建築後25年を経過した教会建物（会堂・牧師館）の全面改築工事
  - ・今年度支援限度額300万円（1教会につき100万円迄）

各教会役員会でご検討ください！

## 教会リレー

栄光教会 大柴 潔

### ファミリーキャンプ&修養会

「あなたの好きな聖書の箇所とその理由を教えてください」と聞かれたら、あなたはどんな回答をしますか？ 一つに絞り込む人もいるでしょうが、ほとんどの方は複数の箇所をあげるのではないのでしょうか？

そして、その理由についても、熱く語ってくれるのではないのでしょうか？

今年の栄光教会のキャンプのテーマは「聖書ってなに」。そしてキャンプ前に教会員に冒頭に記したアンケートを取ったところ23人が回答され、一人で複数の回答をした方が多かったため、65箇所ものお気に入りの聖句が集まりました。キャンプのときに配布する資料にするためにパソコンで文書化しているときに「すごい、この資料は自分にもみんなにも、ものすごいプラスになるぞ!」と感じ、また、まるで回答してくれた皆さんからパワーをもらっているような錯覚にとらわれました。

気になる方もいるでしょうからお教えしますが、一番多くの票（票と言っているのかわかりませんが）を獲得したのは、Iテサロニケ5:16-18の「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそキリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」の5票でした。「そうだよね、良い聖句だね」と共感する人も多いことでしょう。教区や全国でこのアンケートを実施したら、それはもう私たちの財産になることでしょう。

さて、本題の「ファミリーキャンプ&修養会」の紹介ですが、栄光教会では毎年7月の海の日の前日から1泊でキャンプを行っています。この3年間は「平和ってなに」

「信仰ってなに」「聖書ってなに」とテーマを絞り、子供から大人までそれぞれグループに分かれて学びのときを持ってきました。そしてありがたいことに、栄光の内藤牧師だけでなく駿遠地区の明比牧師と森田牧師（去年までは渡辺高伸牧師）も参加して下さり、3人の牧師体制でキャンプのプログラムを実施しています。「梅ヶ島キャンプ」ではありませんが、栄光のキャンプにもなぜか「劇」が付き物で、毎年発表の時には笑いが絶えません。また恒例になりつつある「オリジナルうちわの作成」、うちわを使った風船バトルなど、子供から大人まで一緒に楽しむプログラムが満載です。そして夜のフリータイムは言わずもがな…。

今年は少し無理をして会場の「島田市野外活動センター山の家」を初めて借り切りました。そして、駿遠地区だけでなく他地区にもキャンプの参加を呼び掛けた結果、他地区からの6人を含めて、延べ48人の参加となりました。しかし、会場にはまだ20～30人収容できる余地があります。どんなキャンプをやっているんだろうって興味を沸いた方は、ぜひ来年の7/14(日)～15(祝)のキャンプに参加してみてください（会場予約は抽選なので日や場所が変わる可能性があります）。

気が早いのか来年のテーマももう決まっています「祈りってなに」です。乞うご期待！



あゆみの欄



(17年1月～12月)

受洗・堅信を受けられた方々

おめでとうございます (敬称略)

4月16日	杉本磨佐人	(清水)
4月16日	小野ひかり	(掛川菊川)
4月16日	小野 美樹	(掛川菊川)
9月10日	藤野あかり	(高蔵寺)
9月10日	古川のぞみ	(高蔵寺)
9月13日	堀江ユカ	(岐阜)
10月22日	内藤 朱里	(高蔵寺)
10月22日	坂田 百菜	(大垣)
10月29日	藤井 英博	(静岡)
10月29日	山本貴己子	(浜名)
10月29日	小島八千子	(名古屋めぐみ)
11月26日	草野 愛子	(高蔵寺)
11月30日	吉田 貞代	(なごや希望)
12月3日	船張 祐司	(名古屋めぐみ)
12月24日	勝又 留意	(沼津)

召天された方々

主の慰めをお祈りいたします (敬称略)

12月24日	鈴木ゆきみ	(小鹿)
12月24日	妹尾 海	(名古屋めぐみ)
12月24日	妹尾 沙羅	(名古屋めぐみ)
12月24日	森田 和夫	(大垣)
1月27日	三尾 裕	(大垣)
2月16日	船城 道雄	(小鹿)
3月19日	神辺 勝義	(岐阜)
5月10日	伊藤 公子	(清水)
6月1日	米倉 郁子	(大垣)
6月19日	野口 幹夫	(知多)
8月6日	平山 惠	(栄光)
9月17日	堀内 美子	(新霊山)
9月24日	堀江ユカ	(岐阜)
10月16日	白井 武雄	(名古屋めぐみ)
10月17日	内藤 弁弥	(刈谷)
11月17日	藤井 浩	(沼津)

編集後記

東海教区の各教会は、それぞれが主の宣教に励み、示された業にまい進しています。今回は「あゆみの家」「栄光のキャンプ」を取上げました。主のみ言葉の種が豊かに実を結ぶよう、祈ります。共労と励まし合いで、主にあって、進みましょう。(N)

発行日：2018年9月20日  
 発行：日本福音ルーテル教会  
 東海教区広報委員会  
 事務所：〒457-0006 名古屋市南区鳥栖 1-15-32  
 TEL 052 (823) 8612  
 発行者：齋藤幸二  
 編集担当：内藤文子 花城裕一郎 菊池幸子  
 銀行口座：第三銀行新郊通支店(普) 0681017  
 郵便振替：00800 - 9 - 71510